

第3学年

道徳科学習指導案

- 1 題材 持ってあげる？食べてあげる？（親切，思いやり）（本時1／1）
- 2 本時の目標 相手のためになる優しさや親切なのかどうか，考えて行動していく判断力や心情を高める。
（思考力・判断力・表現力）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (4)	1 友達のことを優しいと思ったときはどんなときか発表する。 ・消しゴムを拾ってくれた。 ・けがをした時、声を掛けてくれた。 ・当番が変わってくれた。	・友達のことを優しいなと思ったのはどんなときか経験を発表するように指示をする。 ・場面の状況を理解し、優しさについての意見が出やすくなるように、ペープサートを操作する。
課題 (1)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">やさしい人って、どんな人なのか考えよう。</div>	・学習課題を板書する。
展開 (32)	3 「持ってあげる？ 食べてあげる？」を読んで話し合う。 ・帰り道 ㊦ みきちゃんが喜んでいる。 ㊧ みきちゃんのわがまま。みきちゃんのためにならない。私は我慢をしているのがおかしい。 ・給食の時間に ㊦ たけしさんもわたしもうれしい。 ㊧ たけしさんは少しでも食べられるようにして行ってない。	・話の内容を確かめながら、場面の挿絵を貼る。 <主発問> 「わたし」は、優しい人だと思いますか。それはなぜですか。 <個人思考の場> ・優しい人か優しい人ではないかの意見を示すために、2色のカードを配布する。 ・カードで立場を明らかにした後、そう考えた理由を隣の子に伝えるように指示をする。 ・「わたし」が言われて思ったことを引き出すために、児童にわたし役をやるように呼び掛け、みきちゃん役やたけしくん役を演じる。 ・児童の考えを意見ごとに板書をする。
整理 (8)	4 演じてみたり、見ていたりして感じたことや考えたことを発表する。 ・相手が喜ぶなら良いと思ったけど、良くないこともあるのだな。 ・だめなことは、だめと教えてあげたほうが、相手のためになるな。 ・やってあげるのではなくて、一緒にやるほうが、その人のためになる。 5 人に優しくするときには、どのような考えをもつことが大切かを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のためになるかどうか考えるようにしたいな。 ・相手がどうしたいか聞くようにしたいな。 ・相手のわがままならことわることも必要だと思う。 </div>	<対話の場> ・ワークシート配り、考えを書くように指示をする。 ・机間指導で児童の考えを見取り、相手のためになる優しさに関わる意見を把握し、指名をする。 ・個人思考の場とは意見が変わった児童には、その理由を発表するように促す。 <ふりかえりの場> ・ワークシートに、これまでの話し合いで考えたことや自分の経験を思い出しながら気が付いたことを書くように指示をする。 ・相手のことを思う大切さに気が付き、それを基に行動しようとする意見を発表した児童を称賛し、行動への意欲付けを図る。

4 評価

本当の優しさとは何かを考え、それを基に行動しようとする判断力をもつことができたか。
（活動3～5の様子やワークシートから）